

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月2日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サブドレン集水設備No. 4中継タンク水位計指示値不良について】</p> <p>当直員が免震重要棟集中監視盤にて、サブドレン集水設備No. 4中継タンク水位計故障警報の発生および水位計の指示値が計測範囲上限を超えていることを確認。</p> <p>No. 4中継タンク移送ポンプを停止し、警報の消灯および現場状況の異常なしを確認。</p> <p>その後、水位計の清掃及び電源再投入を実施後移送ポンプを起動したが、当該水位計指示値にハンチング※を確認。</p> <p>水位計を交換にて監視中。</p> <p>※ ハンチング:指示値が瞬時に不安定に振れる状態</p>	G III	11月26日
2	<p>【地下水バイパス揚水井(G)サンドセパレータ吐出配管フランジ面の腐食について】</p> <p>協力企業作業員が地下水バイパス揚水井(G)のサンドセパレータ点検において、揚水ポンプ吐出配管フランジ面の下流側に腐食があることを確認。</p> <p>詳細に調査した結果、当該フランジ面の腐食は肌荒れ程度であり、シート面が十分確保されていることを確認。</p> <p>修理方法として、液状ガスケット※塗布による手入れを実施予定。</p> <p>今後、腐食の状況を記録に残し、継続監視を行う。</p> <p>当該揚水井以外は健全であるため、設備全体への影響はなし。</p> <p>※ 液状ガスケット:配管等内部からの漏れを防止するため、接合面に塗布するシール効果のある流動性のシール材</p>	G III	11月27日